



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月9日

上場会社名 株式会社モスフードサービス

上場取引所 東

コード番号

8153

URL <http://www.mos.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 櫻田 厚

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員

(氏名) 中井 順

TEL 03-5487-7371

四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	15,270	3.9	642	18.5	765	23.3	323	△4.1
22年3月期第1四半期	14,703	3.2	542	156.6	620	232.8	337	ー

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	10	48	ー	ー
22年3月期第1四半期	10	93	ー	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円	銭
23年3月期第1四半期	46,022	35,965	77.7	1,159	69		
22年3月期	46,522	36,072	77.1	1,163	29		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 35,753百万円 22年3月期 35,864百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	ー		6	00	10	00
23年3月期	ー					
23年3月期(予想)			8	00	8	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	30,000	0.3	1,150	0.6	1,250	0.2	500	△20.6	16	22
通期	60,500	0.8	2,400	5.2	2,600	3.0	1,100	△32.7	35	68

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	32,009,910株	22年3月期	32,009,910株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	1,179,618株	22年3月期	1,179,521株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	30,830,348株	22年3月期1Q	30,831,783株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 期中における重要な子会社の異動の概要(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)	3
(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における外食業界は、一部持ち直しの動きがみられるものの、株価の低迷やデフレの影響などを背景に、個人消費の本格的な回復には至らず、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「人間貢献」「社会貢献」の経営理念のもと、「食を通じて人を幸せにすること」を企業目標として、お店がお客様にとってなくてはならないものとなるよう、ブランド価値のさらなる向上と業績の回復を目指して、全社をあげて積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は152億70百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益6億42百万円(同18.5%増)、経常利益7億65百万円(同23.3%増)となり、最終損益は、固定資産除売却損9百万円、投資損失引当金繰入額1百万円、減損損失23百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額50百万円を計上した結果、四半期純利益3億23百万円(同4.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、営業損益については、当第1四半期連結累計期間よりセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い営業費用の配賦基準の変更を行ったため、前年同四半期比の記載は行っておりません。

## &lt;モスバーガー事業&gt;

当社グループの基幹事業であるモスバーガー事業では、主として以下の施策を展開いたしました。

- (I) 国産食材を使用した「とびきりハンバーグサンド」のシリーズ展開
- (II) 日本テレビの総合情報番組「スッキリ!!」とのコラボレーション商品の期間限定発売
- (III) ミスタードーナツとの共同開発店舗「MOSDO(モスト)」1号店の出店(広島県)
- (IV) 携帯メール会員を活用した販売促進活動の推進

店舗の売上につきましては、発売後1年3ヶ月を経過した「とびきりハンバーグサンド」シリーズが引き続き好調に推移したほか、昨年に続いて実施したテレビ番組とのコラボレーション商品発売の番組内での告知などが行われた結果、既存店の売上高前期比は98.7%、客数100.5%、客単価98.1%となりました。

資本・業務提携している株式会社ダスキンの「ミスタードーナツ」との協働事業の一環として、4月に広島県安芸郡府中町の大型ショッピングモール「イオンモール広島府中ソレイユ」内に、両社で初めてとなる共同店舗「MOSDO(モスト)」を出店しました。ひとつの店舗でハンバーグとドーナツが両方楽しめる新業態店舗として、売上・客数とも計画を大幅に上回って推移しております。

携帯サイトのメール会員数は順調に増加し、当第1四半期連結累計期間末までで289万人に達し、会員属性にあわせた新商品やエリア・店舗別キャンペーン情報の発信など、きめ細かい対応に寄与しております。

国内の店舗数につきましては、前年度に続き積極的な出店を推進しており、出店15店舗に対し閉店は2店舗で、モスバーガー事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は1,355店舗(前連結会計年度末比13店舗増)となりました。

海外の展開につきましては、台湾171店舗(前連結会計年度末比6店舗増)、シンガポール24店舗(同増減なし)、香港15店舗(同1店舗増)、タイ7店舗(同増減なし)、インドネシア4店舗(同増減なし)と、中国・廈門1店舗(同増減なし)となり、合計で222店舗となりました。

これらの施策によりモスバーガー事業の売上高は142億87百万円(前年同四半期比105.8%)、営業利益10億53百万円となりました。

## &lt;その他飲食事業&gt;

「マザーリーフ」「ちりめん亭」「AEN(あえん)」「chef's V(シェフズブイ)」「GREEN GRILL(グリーングリル)」の各事業を運営するその他飲食事業につきましては、「マザーリーフ」事業は24店舗(前連結会計年度末比2店舗減)、「あえんおそうざい」事業は1店舗(同1店舗減)、「ちりめん亭」事業は59店舗(同増減なし)、「AEN」事業は6店舗(同増減なし)、「chef's V」および「GREEN GRILL」事業は合計で3店舗(同増減なし)となりました。

以上の結果、その他飲食事業の売上高は8億23百万円(前年同四半期比82.9%)、営業損失は29百万円となりました。

## &lt;その他の事業&gt;

「モスバーガー」および「マザーリーフ」をはじめとするその他飲食の各事業を、衛生、金融、保険面で支援する連結子会社の株式会社エム・エイチ・エスおよび株式会社モスクレジットによるその他の事業の売上高は1億600百万円(前年同四半期比78.7%)、営業利益は59百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の465億22百万円から5億円減少し、460億22百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から14億25百万円減少し、固定資産は9億24百万円増加しております。

流動資産が減少した主な理由は、現金及び預金、有価証券が減少したためであります。固定資産が増加した主な理由は、投資有価証券が増加したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ3億93百万円減少しております。この減少の主な理由は、買掛金の増加及び資産除去債務の初年度計上をした一方で、短期借入金、未払法人税等、賞与引当金が減少したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少し、自己資本比率は前連結会計年度末77.1%から当第1四半期連結会計期間末は77.7%と0.6ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月10日発表の通期連結業績予想と変更はございません。

2. その他の情報

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り簿価切下げを行う方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益は980千円、経常利益は2,444千円、税金等調整前四半期純利益は52,486千円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は146,855千円であります。

② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。これによる損益へ与える影響はありません。

③ 企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

④ 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,268,446	6,409,199
受取手形及び売掛金	3,945,598	3,996,073
有価証券	4,822,870	5,111,003
商品及び製品	2,794,324	2,607,094
原材料及び貯蔵品	135,169	149,493
繰延税金資産	325,372	435,026
その他	1,031,359	1,039,968
貸倒引当金	△60,232	△59,754
流動資産合計	18,262,909	19,688,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,891,849	10,590,068
減価償却累計額	△6,381,835	△6,185,127
建物及び構築物(純額)	4,510,013	4,404,940
機械装置及び運搬具	291,216	273,030
減価償却累計額	△194,823	△182,799
機械装置及び運搬具(純額)	96,393	90,231
工具、器具及び備品	5,410,946	5,332,033
減価償却累計額	△4,331,816	△4,249,195
工具、器具及び備品(純額)	1,079,130	1,082,838
土地	1,899,546	1,895,186
建設仮勘定	4,802	52,833
有形固定資産合計	7,589,886	7,526,030
無形固定資産		
その他	744,946	807,093
無形固定資産合計	744,946	807,093
投資その他の資産		
投資有価証券	8,423,270	7,472,180
長期貸付金	2,447,851	2,539,027
差入保証金	5,472,209	5,438,827
繰延税金資産	652,056	624,067
その他	3,067,337	3,079,391
貸倒引当金	△435,073	△450,733
投資損失引当金	△203,000	△201,200
投資その他の資産合計	19,424,651	18,501,560
固定資産合計	27,759,484	26,834,684
資産合計	46,022,393	46,522,789

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,224,931	4,058,777
短期借入金	865,476	998,346
未払法人税等	220,994	621,329
賞与引当金	205,072	394,101
役員賞与引当金	—	21,500
資産除去債務	8,000	—
その他	2,376,315	2,336,944
流動負債合計	7,900,789	8,430,999
固定負債		
長期借入金	88,362	90,861
繰延税金負債	23,274	22,945
退職給付引当金	292,321	277,542
資産除去債務	138,855	—
その他	1,613,610	1,628,085
固定負債合計	2,156,423	2,019,434
負債合計	10,057,213	10,450,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412,845	11,412,845
資本剰余金	11,100,532	11,100,532
利益剰余金	15,429,032	15,417,913
自己株式	△1,606,813	△1,606,684
株主資本合計	36,335,596	36,324,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△303,109	△150,660
為替換算調整勘定	△278,907	△309,353
評価・換算差額等合計	△582,017	△460,013
新株予約権	117,673	118,555
少数株主持分	93,928	89,207
純資産合計	35,965,180	36,072,355
負債純資産合計	46,022,393	46,522,789

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	14,703,902	15,270,627
売上原価	7,788,958	8,088,865
売上総利益	6,914,944	7,181,761
販売費及び一般管理費	6,372,916	6,539,358
営業利益	542,028	642,403
営業外収益		
受取利息	16,120	25,216
受取配当金	50,513	51,237
設備賃貸料	449,215	430,854
協賛金収入	10,728	10,107
持分法による投資利益	32,033	52,153
雑収入	65,221	42,155
営業外収益合計	623,832	611,725
営業外費用		
支払利息	4,703	4,375
設備賃貸費用	501,793	463,462
雑支出	38,794	21,081
営業外費用合計	545,291	488,920
経常利益	620,569	765,208
特別利益		
固定資産売却益	7,102	169
貸倒引当金戻入額	36,975	12,671
その他	1,617	882
特別利益合計	45,694	13,722
特別損失		
固定資産売却損	130	80
固定資産除却損	4,371	9,705
減損損失	68,010	23,290
投資損失引当金繰入額	6,900	1,800
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	50,042
特別損失合計	79,412	84,918
税金等調整前四半期純利益	586,851	694,013
法人税、住民税及び事業税	70,707	226,641
法人税等調整額	176,454	141,386
法人税等合計	247,161	368,028
少数株主損益調整前四半期純利益	—	325,984
少数株主利益	2,565	2,759
四半期純利益	337,124	323,225

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	586,851	694,013
減価償却費	533,954	426,485
減損損失	68,010	23,290
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	50,042
持分法による投資損益(△は益)	△32,033	△52,153
固定資産除売却損益(△は益)	△2,599	9,616
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△21,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△168,659	△189,165
退職給付引当金の増減額(△は減少)	51,840	14,778
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36,983	△15,181
投資損失引当金の増減額(△は減少)	6,900	1,800
受取利息及び受取配当金	△66,633	△76,453
支払利息	4,703	4,375
売上債権の増減額(△は増加)	438,508	50,949
たな卸資産の増減額(△は増加)	△135,563	△176,835
仕入債務の増減額(△は減少)	△741,298	160,841
その他	△188,442	4,466
小計	318,554	909,370
利息及び配当金の受取額	115,659	72,140
利息の支払額	△5,156	△7,095
法人税等の支払額	△142,653	△596,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	286,404	378,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△638,320	△1,100,977
有価証券の償還による収入	—	689,868
有形固定資産の取得による支出	△139,455	△365,999
有形固定資産の売却による収入	49,547	13,967
無形固定資産の取得による支出	△40,743	△31,885
貸付けによる支出	△112,931	△69,392
貸付金の回収による収入	226,588	216,741
投資有価証券の取得による支出	△207,885	△1,400,113
投資有価証券の償還による収入	1,205	1,455
定期預金の預入による支出	△5,703	△5,705
定期預金の払戻による収入	503,600	3,600
その他	△12,122	△52,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376,221	△2,101,311

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△37,875	△105,800
長期借入金の返済による支出	△32,499	△32,499
自己株式の取得による支出	△958	△128
自己株式の売却による収入	97	—
配当金の支払額	△143,064	△248,467
その他	△69,673	△94,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,972	△480,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	△525	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△374,314	△2,204,022
現金及び現金同等物の期首残高	8,213,011	8,846,335
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	94,569	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,933,266	6,642,312

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	モスバーガー事業 (千円)	その他飲食事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,507,939	992,340	203,622	14,703,902	—	14,703,902
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,178	91	266,147	302,417	△302,417	—
計	13,544,117	992,431	469,770	15,006,319	△302,417	14,703,902
営業利益又は営業損失(△)	1,091,313	△55,860	37,125	1,072,578	△530,550	542,028

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、モスバーガー事業、その他飲食事業、その他の事業に区分しております。

## 2. 事業区分及び各区分に属する主要な製品等の名称

事業区分	区分に属する主要な製品等の名称
モスバーガー事業	ハンバーガー、ライスバーガー、モスチキン、スープ、ドリンク等及びパティ、バンズ、ポテト等の食材並びにカップ、パッケージ等の包装資材
その他飲食事業	紅茶、ワッフル、パスタ、スイーツ、ハンバーグ、オムライス、ラーメン、餃子、和風旬菜料理、洋風旬菜料理等
その他の事業	食品衛生検査、金銭貸付、保険代理、リース、人材派遣、店舗保守、内装工事等

3. 当第1四半期連結会計期間における営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、538,206千円であり、その主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

## 4. 会計方針の変更

(営業費用の配賦方法の変更)

営業費用の配賦方法については、従来、管理部門等に係る費用を可能な限り各セグメントに配賦してきましたが、当第1四半期連結会計期間より、提出会社の経営管理に係る部門の費用を配賦不能営業費用とするとともに、それ以外の営業費用については配賦基準をより適切なものに変更しております。

この変更は、営業費用の配賦方法を同社の経営管理の手法に即したものとし、セグメント別営業損益の実態をより明瞭に表示するため行ったものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第1四半期連結会計期間の営業費用は、「モスバーガー事業」が538,206千円減少、「消去又は全社」が538,206千円増加しております。この結果、従来の方法に比べ「モスバーガー事業」において営業利益が同額増加し、「消去又は全社」において営業利益が同額減少しております。

## b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

## d. セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にフランチャイズシステムによる飲食店の事業活動を展開しております。なお、当社グループは、「モスバーガー事業」、「その他飲食事業」及び「その他の事業」を報告セグメントとしております。

「モスバーガー事業」は主に「モスバーガー」等の商標を使用した飲食事業を行っております。「その他飲食事業」は、「マザーリーフ」「ちりめん亭」「AEN」「chef's V」等の商標を使用した飲食事業を行っております。「その他の事業」は、上記飲食事業をサポートする衛生業、金融業、保険業、店舗保守業等を行っております。

各報告セグメントの主な製品・サービスは、次のとおりであります。

報告セグメント	区分に属する主要な製品等の名称
モスバーガー事業	ハンバーガー、ライスバーガー、モスチキン、スープ、ドリンク等及びパティ、バンズ、ポテト等の食材並びにカップ、パッケージ等の包装資材
その他飲食事業	紅茶、ワッフル、パスタ、スイーツ、ラーメン、餃子、和風旬菜料理、洋風旬菜料理等
その他の事業	食品衛生検査、金銭貸付、保険代理、リース、店舗保守、内装工事等

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバー ガー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,287,260	823,031	160,335	15,270,627	—	15,270,627
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,553	514	236,453	273,521	△273,521	—
計	14,323,813	823,545	396,789	15,544,148	△273,521	15,270,627
セグメント利益又は損失(△)	1,053,457	△29,867	59,899	1,083,489	△441,086	642,403

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△441,086千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△441,086千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。